

社会福祉法人塩釜市社会福祉協議会
令和元年度第4回小規模多機能型居宅介護松ぼっくり運営推進会議
議事録

1. 日 時 令和元年 11 月 28 日（木曜日）
開会 午後 6 時～ 閉会 午後 7 時 01 分

2. 場 所 小規模多機能型居宅介護松ぼっくり

3. 出席者 畑中敬一 三上長治 中村成子
(委員総数 5 名中 3 名出席)

松ぼっくり
早坂所長 鈴木介護職員

社会福祉協議会
山本次長 曾根課長

欠席者 櫻井實 永野やすえ

1.開 会

2.あいさつ

3.協 議 (要旨)

①利用者動向 (早坂所長)

- ・ 現在 18 名登録。女性 14 名、男性 4 名。
- ・ 要支援 1 1 名 要支援 2 0 名 要介護 1 7 名
要介護 2 3 名 要介護 3 3 名 要介護 4 1 名
要介護 5 3 名 平均介護度 2.41
- ・ 10～11 月と入院・入所・死去が重なった。
- ・ 問い合わせ・相談・見学は 4 件、SONPO ケア仙塩、坂総合病院、塩釜市立病院よりあった。
- ・ 坂総合病院介護保険室から相談のあった方、11/18 から利用開始となる。元々となりの家の利用者。毎日の通所になる予定。
- ・ 坂総合病院入退院相談室から相談のあった方、松ぼっくり利用者の

夫。利用者の妻は 11/5 に自宅で急逝。災害公営住宅へ入居しており、ふれあいサポートセンターと連携を図りながら、松ぼっくり利用となる見込み。

- ・ 塩釜市立病院から相談のあった方は、元々松ぼっくり利用者で本日から利用再開となる。朝夕の訪問と通所、訪問看護や往診を組み合わせる。
- ・ 要介護 3 の利用者、9 月に坂総合病院へ入院、その後利府掖済会病院へ転院したが、11/2 に肺炎で死去。
- ・ 要介護 3 の利用者、11/11 よりこころの樹へ入所。家族が遠方で独居、朝夕訪問と通所を提供していた。
- ・ 要介護 5 の利用者、こころの樹への入所が決定したものの、「あと 2～3 年、家で看たい」との介護者の思いがあり継続利用となる。
- ・ 上記の坂総合病院入退院相談室から相談のあった方は、松ぼっくりの櫻井実運営推進委員。

②行事・今後の予定（早坂所長）

- ・ 利用者誕生会、11 月 2 名。
- ・ 11/14～15、芋煮会開催。
- ・ 11/15、消防訓練実施。消防署員が来所し、通報・避難・消火の総合訓練となった。地域の方 1 名も参加。
- ・ 12/19、さかえ保育園園児を招いてのクリスマス交流会を開催予定。園児 20 名が来所。
- ・ 10/12、さかえ保育園の運動会へ参加。（写真を披露した）

③その他

- ・ 昼食ボランティア 2 名増員。内 1 名は元社協のケアマネジャー、もう 1 名は松陽台在住の方。

（山本次長）

利用中止の報告が多かったが、それらを含めて 18 名になったということか？

（早坂所長）

その通りで、中止の方、新規の方がいて現在 18 名となった。

（三上委員）

勉強不足で申し訳ないが、介護度によって利用料金は違うのか？例えば、

入浴をすると介護度 1 と介護度 5 の方では料金が違うのか？

(早坂所長)

松ぼっくりは月額の設定額制。介護度により金額が違う。

(三上委員)

年金生活になると生活が厳しいので、料金が安いと助かる。医療費も上がると報道があった。子どもの政策は充実しているが、高齢者はないがしろにされているように感じる。

(畑中委員)

年齢により介護保険料が有無を言わず徴収される。実際に介護サービスを利用するようになった高齢者で収入が少なく、自己負担分が払えない方はいるのか？

(中村委員)

ゼロではない。

(山本次長)

制度的に補完するものがある。大きいところは生活保護。保護費から扶助される。また、境界層措置というものがあり、介護サービス費用を払うことにより生活保護世帯と同じレベルになる場合、自己負担額を減じる制度がある。さらに社会福祉法人減免という形で、一般の方より 25% 安く利用できる制度もある。しかし、これらが認知されているかどうかは疑問。

(畑中委員)

ここの委員の役割は、そのような制度を市民に周知することなのか？それとも施設が緊張感を持ち運営するよう監視することなのか？それとも別な役割があるのか？いつも考えてしまう。

(山本次長)

まずは透明性のある運営をするために委員の皆さんへ状況を報告し、さらにその運営に地域の意見を取り入れるのがこの会議の趣旨。制度的なものについても広めてもらえればいいが、それは行政や事業者がやるべきもの。

(畑中委員)

個人ではなく町内会を代表しての立場。折に触れて報告をしているが、利用者の状況だけでは寂しい。こちら側から町内の声を届け、松ぼっくりに反映されるものであるのが理想と思っている。こちら側の意識の薄

さの問題かもしれない。

(山本次長)

地域で松ぼっくり職員が働いている姿を見ていると思うので、その中で気づいたことを是非教えて欲しい。

(畑中委員)

逆に町内会へ意見を言ってもらっていい。良いものであれば積極的に反映する。施設前の交差点は事故が少なくない。住民の声からカーブミラー設置に向けて町内会で動いている。他、何か気づいた点があったら言って欲しい。

(早坂所長)

確かにこの交差点は交通量が多く危険である。加えて、バス停があり、乗降者に注意が必要。バス停を移動できないかと考えていた。また、冬場は雪が降ると溶けにくく、上れずに渋滞する場合もある。

(三上委員)

ここは山の陰になり、なかなか溶けにくい。

(畑中委員)

具体的に困ったことはあるか？

(早坂所長)

バスに乗ろうとする方が寒風を避けるためか、駐車場の中に入ってしまう。夏は夏で日陰を求めて駐車場に入る。

(畑中委員)

融雪剤は市の方で撒いてくれている。町内会として、特に念入りにとお願いしている場所の一つ。尚、働きかけてみる。町内のバス停については、一つ増やす要望を届けている。距離は短いものの坂道ということで高齢者には負担となっているからだ。

(曾根課長)

畑中委員にはここに松ぼっくりがあるということを会員の皆さんに伝えて欲しい。もし、介護が必要となれば、身近な相談窓口として使ってもらいたい。気楽に入ってもらって、職員に相談していただきたい。地域密着型施設であり、利用者だけが入れる施設ではない。

(曾根課長)

先ほど、利用料金の話があったが、資料に介護度別の報酬額が載っている。利用者はこの額の原則 1 割を自己負担している。

(早坂所長)

定額制で介護度の重い方の料金が高くなっているが、重いからと言って多くのサービスを提供している訳ではない。軽い方でも必要であれば毎日利用するし、重い方でも家族がいれば必要な分だけ利用している。

(山本次長)

介護保険制度の目的は自立支援。必要なサービスを必要な分だけが基本的スタンス。不必要なサービスを除くためにケアマネジャーが利用者と事業者の間に入る。

(畑中委員)

経営面で見れば、通い、訪問、宿泊の回数についてはどうか？

(山本次長)

経営的にはサービスが少なければ楽だ。ただ、最低限のサービス提供量は決まっており、それを下回ると行政からの指導があったり、介護報酬をカットされたりしてしまう。

(畑中委員)

ここの定員は？

(曾根課長)

25 名。25 名全てが介護度 5 であれば一番儲かる。

(早坂所長)

介護度が 3 以上の方については、どうしても医療的な処置が必要となる。そうすると施設や病院でのケアになる傾向が強い。

(畑中委員)

利用者の確保は積極的に行っているのか？

(早坂所長)

関係機関にパンフレット等を渡して募っている。

(畑中委員)

定員一杯が理想なのだろう。

(早坂所長)

そうではあるが、毎日 12 名が通うような状況になり、余裕がなくなる。

(曾根課長)

現在、人手不足という慢性的な課題が立ちはだかっている。

(早坂所長)

サービスの質を維持しなければならないので、バランスを取っている。

(中村委員)

12 月 14 日にエスプホールで「第 2 回 塩竈のお宝 ～見っぺし 聞くべし まざっぺし～」というイベントが開催される。地域の支えあい活動の発表の場だ。周知いただいて、興味がある方は参加して是非欲しい。事前に参加申し込みをした方がいいようだ。

(早坂所長)

松陽台で訪問販売による被害は聞いていないか？金の買取や物の売りつけなど。

(三上委員)

買取の電話はたまに来る。一回入られると根こそぎ持っていくと聞いているので断っている。自分が認知症になったらどうなるか分からない。

(早坂所長)

認知症の方が通所から帰り、家族が帰ってくるまでの間、訪問買取があったとのこと。不明な現金を持っていたことから発覚した。

(畑中委員)

オレオレ詐欺はあった。お金を下ろしに家を出ようとしたら、たまたま家族が帰ってきて事故を未然に防いだ。その話を永野委員から聞いて、緊急で注意喚起のチラシを作成し全世帯に配布した。

(三上委員)

新聞を見ると、60 代の方でも引っかかっている。相手は巧妙な手を使ってくるので注意が必要。また、高齢者でもスマートフォンを持つようになったので SNS による犯罪も出てくるのではないかと心配している。

次回 1 月 28 日 (火) 18:00～